

シロヤマブキ

【 区画①(56) 】

学名	<i>Rhodotypos scandens</i> (Thunb.) Makino	分類	バラ科シロヤマブキ属
分布	中国地方の瀬戸内海側にまれに自生	樹高	2m程度の落葉低木

〈 特徴等 〉

名前の由来	・ 白い花をつけ、花や葉等の特徴がヤマブキに似ていることから名づけられた。		
葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
開花等	・ 4～5月頃に、花びらが4枚の白い花を咲かせる。		
結実等	・ 秋になると、黒色で光沢のある果実を1つの花に対して4個ずつつける。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉が対生ことや花びらが4枚であること等からヤマブキと区別することができる。 ・ 庭園に栽植されることが多く、自生のシロヤマブキは絶滅危惧IB類に指定されている。 		

〈 写真 〉

		
樹木 (5/19)	樹皮 (5/20)	葉の付き方 (5/19)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (5/20)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 601.
 林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p. 171.